

伊 政 政 第 1 5 1 号
平成 2 3 年 6 月 1 3 日

伊丹市行財政改革推進懇話会 会長 様

伊丹市長 藤 原 保 幸

第三セクター等の抜本的改革について（諮問）

伊丹市行財政プランに関わる第三セクター等の抜本的改革策を検討するにあたり、貴懇話会の意見を求めます。

（理由）

本市では、昨年度貴懇話会からいただいた意見書をもとに新しい行財政プランを策定し、自立的な行財政運営に取り組んでおります。

今後も土地開発公社をはじめとする経営状態の悪化した第三セクター等の存廃については、支払い金利を含めた資金調達のコストの増加が見込まれるだけでなく、本市の将来負担比率に影響を及ぼすこととなります。

そのうち、土地開発公社は、公共用地の先行取得など一定の役割を終了し、また、土地価格の下落により保有土地に評価損などが生じたことから、多額の累積欠損金を抱える状況です。そのため、今後も累積赤字を縮減するため、一般会計から補助するなど将来へ負担を先送りしないよう廃止に向けて処理対応に取り組んでいます。

各団体の経営状況、財務状況、事業の意義、必要性等について、改めてご検討の上、第三セクター等改革推進債の活用も念頭に置きつつ、事業継続の是非を判断し、事業を継続する場合にあっても、最適な事業手法の選択、民間的経営手法の導入の検討を行うなど、解散清算計画や改革方針を策定することについて、貴懇話会に意見を求めるものです。